

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	特定教育・保育施設運営経費【再掲】 (旧:特別保育推進事業)	事業番号	79 (12362)

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-2	男女共同参画の促進
	施策目標	男女が互いに人権を尊重し支え合うまち	

2 事務事業の目的

目的	保護者の就労形態の多様化に対応するため、民間保育園が実施する延長保育に対し支援措置を講じ、就労と子育ての両立を支援する。
成果	子育て世帯の就労支援体制の充実
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	民間保育園(しらかば保育園)が実施する延長保育に対し、補助金を交付し支援体制の充実を図る。						
	28	同上						
	29	同上						
	30	同上						
	31	同上						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		1,342	1,342	1,342	1,342	1,342	6,710
	内訳	国庫支出金	447	447	447	447	447	2,235
		道支出金	447	447	447	447	447	2,235
		地方債						
		その他						
		一般財源	448	448	448	448	448	2,240
	人員(人工)		0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	
職員費(人員×8,081千円)		1,374	1,374	1,374	1,374	1,374	6,870	
総事業費		2,716	2,716	2,716	2,716	2,716	13,580	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	延長保育実施施設数	1施設	4施設	7施設
	延長保育利用人数	894人	3,560人	4,650人
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	事業継続の安定化による保護者の就労支援 子育て支援の充実
-------------------	---------------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 利用については、市内の産業の状況により変動するものと推測される。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 国の補助制度を運用するため、自治体以外の実施が不可能である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 保護者の就労支援と子育て環境の整備のため、事業継続が必要である。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 希望する保護者に対し、保育が提供できている。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 常設保育所における実施については、財源措置による勤務体制の整備や希望人数の調整等を要する。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 保護者が安心して就労することができ、子育てとの両立の支援の面からも有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、引き続き民間保育園と連携してニーズの把握やサービスの充実に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 民間保育園との連携・協調維持に努めながら事業を継続とし、将来的な実施施設の拡充の可能性も検討していくこととしたい。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	商工観光課(商工労政担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	根室なでしこ応援事業【再掲】	事業番号	12622 (旧:12557)

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-2	男女共同参画の促進
	施策目標	男女が互いに人権を尊重し支え合うまち	

2 事務事業の目的

目的	女性の社会における活躍の場を創出するとともに、市内企業における労働力の確保に努め、地域経済の活性化に繋げる。
成果	女性の労働力確保に対する側面的支援を行うことにより、市内労働力の確保、市中経済の持続的発展が図られる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
	27	職場体験学習、ビジネス基礎講座、各種資格取得支援など					
	28	職場体験学習、ビジネス基礎講座、各種資格取得支援など					
	29	職場体験学習、ビジネス基礎講座、各種資格取得支援など					
	30	職場体験学習、ビジネス基礎講座、各種資格取得支援など					
	31	職場体験学習、ビジネス基礎講座、各種資格取得支援など ※事業完了					

		(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費	
事業費と内訳	事業費		2,050	2,050	2,092	2,113	2,113	10,418	
	内訳	国庫支出金	2,050	2,050					4,100
		道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源			2,092	2,113	2,113	6,318	
人員(人工)		0.08	0.08	0.08	0.08	0.08			
職員費(人員×8,081千円)		646	646	646	646	646	3,230		
総事業費		2,696	2,696	2,738	2,759	2,759	13,648		

維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	根室なでしこ応援事業を利用した就職者数	2人	5人	10人

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	潜在的な労働力である女性の活用が図られ、市内経済の持続的発展や労働力の確保に繋がる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 市中経済の持続的発展のため、潜在的労働力である女性の活用が必要である。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input checked="" type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 現在、市で実施しているが、事業の成果・進捗状況を見て、関係団体や外部委託など検討が必要。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 女性活躍推進法の成立により、女性の能力を活かした取り組みが必要である。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 一定の職場・企業に偏ることなく様々な職場を体験することにより、参加者の向き・不向きの判断が就業前に把握する事が出来、早期離職を未然に防止できる。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 広報誌・チラシ等、広く周知を行い、募集を行う。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 市内企業における労働力の確保により、地域経済の活性化に繋がる。 また、就労支援をすることにより、男女共同参画の促進に繋がる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、より活用しやすい制度となるよう検討を進められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	社会教育課(社会教育担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	放課後教室管理運営経費【再掲】	事業番号	372

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	7-2	男女共同参画の促進
	施策目標	男女が互いに人権を尊重し支え合うまち	

2 事務事業の目的

目的	放課後等における児童への遊びや生活の場の提供、児童の健全育成に必要な学習や活動等を実施するために、放課後教室等を設置・運営する。
成果	保護者の就労や疾病、介護等により昼間家庭での養育を受けることができない児童をはじめ、全ての児童が放課後等に安心・安全な居場所を得られるほか、様々な体験活動や交流活動等をとおして児童の健全育成が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	放課後教室等の設置・管理運営、留守家庭児童会・登録児童会の運営、放課後子どもプランの実施						
	28	放課後教室等の設置・管理運営、留守家庭児童会・登録児童会の運営、放課後子どもプランの実施						
	29	放課後教室等の設置・管理運営、留守家庭児童会・登録児童会の運営、放課後子どもプランの実施						
	30	放課後教室等の設置・管理運営、留守家庭児童会・登録児童会の運営、放課後子どもプランの実施						
	31	放課後教室等の設置・管理運営、留守家庭児童会・登録児童会の運営、放課後子どもプランの実施						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		75,705	74,207	74,207	74,207	74,207	372,533
	内訳	国庫支出金	7,874	7,513	7,513	7,513	7,513	37,926
		道支出金	13,540	9,253	9,253	9,253	9,253	50,552
		地方債						
		その他	250	265	265	265	265	1,310
		一般財源	54,041	57,176	57,176	57,176	57,176	282,745
	人員(人工)		2	2	2	2	2	10
	職員費(人員×8,081千円)		16,162	16,162	16,162	16,162	16,162	80,810
総事業費		91,867	90,369	90,369	90,369	90,369	453,343	
維持管理	管理主体		根室市教育委員会					
	運営方法		直営					
	維持管理費	施設維持費	3,171	3,838	3,838	3,838	3,838	18,523
		概算人件費						
		合計/年	3,171	3,838	3,838	3,838	3,838	18,523

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	地域ボランティア人数	4人	10人	10人
	放課後教室における実施事業数	101事業	110事業	110事業
	放課後教室における実施事業参加者数	4,589人	5,000人	5,000人
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	子ども達が放課後等に安心して過ごせる生活の場の提供により、男女を問わず保護者が安心して仕事と家庭を両立できる環境づくりが促進される。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある □ニーズはある □ニーズはあまりない</p> <p>共働き世帯、ひとり親世帯の増加に伴い、留守家庭児童会等の入会希望児童数が大幅に増加し、放課後教室等の利用が増大している。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>□市が実施すべきである □市の実施について検討の余地あり ■市以外で実施可能である</p> <p>子どもの教育・健全育成が目的であり、外部委託は馴染まないが、制度上は可能であり、実施している自治体もあることから、今後検討していきたいと考えている。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い □緊急性はある □緊急性はない</p> <p>留守家庭児童会・登録児童会の入会希望者数が増加しており、体制の整備、強化及び充実化が求められている。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である □現状として妥当である □検討の可能性はある</p> <p>国が示す「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」を条例化し、事業を実施している。</p>
オ. 事業の公平性	<p>□公平性は高い □概ね公平である ■改善の余地はある</p> <p>留守家庭児童会の入会希望者が増加し定員を超過し、特例措置により受入をしていることから、教室を拡充し定員拡大にむけ準備を進めている。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い □本事業の有効性がある □既存事業と大きな差はない</p> <p>本事業の実施は、仕事と家庭の両立が必要な子育て世帯への支援につながり、労働力向上による社会経済の安定化やワーク・ライフ・バランスの推進が図られることから、有効性が高いと考える。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【再検討して実施】</p> <p>放課後教室管理運営に当たっては、一時的に待機児童が発生している事態を踏まえ、事業内容を再検討し速やかに対応されたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 □再検討し実施する □着手を延期する</p> <p>留守家庭児童会等の入会希望者や放課後教室等の利用者が増加している一方で、各教室の登録率及び利用率の不均衡や少子化による対象児童の減少といった課題も発生していることから、登録児童の定員及び指導員の配置等について、より一層の適正化を図り、必要に応じた対応をしていきたい。</p>

作成年度 平成27年度